

6 【 福島県立安達高等学校 】

福島県立安達高等学校 同窓会 仙台支部（仙台まゆみ会）

福島県立安達高等学校

校歌

土井 晚翠
梁田 貞
作曲 作詞

一、安達のまゆみ 古しえの

歌によまれし 跡遠し

安達の名負う 高校の

健児きたえよ 心と身

健児かためよ 身と心

二、新たなわが世 あけぼのの

朱のにおいを 見るごとく

「望」はわれを 励まして

高き遠きに 進ましむ

高き遠きを 仰がしむ

三、安達のまゆみ 染めなすは

赤き心の 象徴か

安達の名負う 高校の

健児つくせよ 国のため

健児つとめよ 世々のため

福島県立安達高等学校は大正12年（1923年）、福島県立安達中学校として福島県安達郡二本松町（現二本松市）に創立され、5年後には創立百周年を迎える伝統ある高校であります。校名・校章は万葉集に「陸奥の安達太良の真弓」と詠われたことに由来し、校名には「安達」、校章には「真弓の花」を象つたものです。また、同窓会の通称も「まゆみ会」になっております。真弓は強靱でしなやかで古代弓の材料として用いられ、その花は清楚でその実は誠実さを表すとしてその精神は「教育目標」に掲げられています。そしてその実施項目として「国際人の育成」「勉強と部活の両立」「環境と開発を考える」を推進し、結果平成24年12月本県初となるユネスコスクールの承認を受け国内外を問わず積極的に活動を続けております。

同窓生は文化勲章受章の故高橋信博士をはじめ、国内外、各分野で広く活躍しております。

校歌は、各校の生い立ちを起点に未来へ広がる希望を歌うもの。

土井晚翠先生が想を込めて作詞された校歌を精一杯歌います。